

今号のテーマ 黒姫グループ 中小企業SBT認証 取得について

株式会社黒姫グループは、2023年7月28日付けで、がれき類の収集運搬・中間処理業界では東日本では初めて（日本では2番目）に中小企業SBT認証を取得しました。今号ではこの内容について解説します。



🔍 (中小企業) SBTとは

SBTとは、企業が環境問題に取り組んでいることを示す目標設定のひとつで、2015年のパリ協定（気候変動問題に関する国際的な枠組み）で誕生しました。Science Based Targetsの頭文字を取った言葉で「科学的根拠に基づいた目標設定」と訳されます。

ここでいう目標設定とは、産業革命以降の気温上昇を2°C未満（もしくは1.5°C未満）に抑えるという国際的な目標に整合するよう、各企業が基準年に対して2030年に温室効果ガスの排出削減を何%削減するかという具体的目標設定です。中小企業SBTは従業員数500人未満の企業を対象にしたもので「事業者自身が直接排出する温室効果ガス（Scorp1）」と「他者から供給された電気等の使用により、間接的に排出する温室効果ガス（Scorp2）」の削減が目標設定の対象になります。

🔍 SBT 認証・運営 組織

SBTの認定と運営は「CDP（国際NGO）」「UNGC（国連グローバルコンパクト）」「WRI（世界資源研究所）」「WWF（世界自然保護基金）」の4つの組織によって行われています。日本では、環境省が「グリーン・バリューチェーンプラットフォーム」でSBT全般についての資料提供を行っています (https://www.env.go.jp/earth/ondanka/supply_chain/gvc/targets.html)。

🔍 SBT認定企業数（中小企業SBT認定企業数）

SBT認定企業数は、2023年3月1日時点で全世界で2,310社です。日本企業は369社あり、この内、中小企業は179社あります。8月1日時点では全世界で2,400社程度（日本企業380社程度）まで増えていると思われます。黒姫グループは、この全世界2,400社（日本企業380社）の内の1社です。

🔍 黒姫グループの中小企業SBT目標設定と目標達成の方法

黒姫グループは、2021年を基準年とし2030年までに42%の温室効果ガスを削減することを目標設定としています。目標達成のための方法としては、Scope1では「ダンプのデジタコ活用による高燃費運転の実践」「トラックの定期的入替えによる低燃費化」「社有車への電気自動車の導入」等を、Scope2では「工場や事務所での光熱費の削減」「自然エネルギーの導入」等を会社方針として実践していきます。

